

# 墨田区ひきこもり支援推進事業の進捗状況について

令和5年8月23日墨田区地域福祉計画推進協議会

- 目的
 

ひきこもりで悩んでいる方やその家族からの相談を受け止め、本人が望む解決にむけて、伴走支援を行う体制を構築する。そして誰一人取り残さない地域共生社会の実現を目指す。
  - 事業内容
    - ひきこもり支援専用相談窓口の設置等 (株)学研エル・スタッフィングに委託
      - ひきこもり支援専用相談窓口
 

ひきこもりで悩んでいる方の状況に寄り添い、来所や訪問などの対面での相談だけでなく、電話やメールなど非対面でも相談ができる窓口を設置する。
    - 家族会・講演会
 

ひきこもりで悩んでいる家族等を中心とした家族会を月1回開催する。あわせて、ひきこもりに関する講演会を実施する。
  - ひきこもり支援専用WEBサイトの開設 (株)メディア・チャンネルに委託
 

ひきこもりに対する正しい理解の周知を図るとともに、ひきこもりで悩んでいる方や家族が地域から孤立しがちな状況を踏まえ、分かりやすい情報を発信する。
- 実績
 

令和5年7月31日現在、相談を受けている家族などは約50人

  - ひきこもり支援専用相談窓口 延べ相談件数：416件
 

家族からの相談が約8割、当事者は30代～50代が多く期間は10年以上が多い。
  - 家族会 延べ参加人数：13人
 

オープンダイアログに基づいた手段を活用して、毎月1回開催。参加者からは「心の一番深いところを支えてもらった」との感想があった。  
当事者からの切なる要望により、家族会とは別に当事者会を試行的に開催した。
  - 講演会 支援者向け講演会「ひきこもりをともに考える」を開催した。  
支援会議での研修、民生委員・児童委員連絡会での研修なども実施した。
  - ひきこもり支援専用WEBサイトの開設
 

秋以降の開設に向け準備中。経験専門家の意見を反映し、当事者目線で構築中。
- 今後の課題
  - 対面相談のキャンセル待ちを解消する。
  - 訪問支援、当事者の居場所支援、ピアサポーター支援を検討し伴走支援の充実を図る。

専用WEBサイト		実施済	・秋以降開設に向けて準備中 経験専門家の意見を反映し、当事者目線で構築中
家族会		実施済	・毎月開催（原則、第3日曜日10時～12時） ・オープンダイアログに基づいた手段を活用し、家族の安心安全な場、一歩踏み出す場となっている。 【今後の予定】親の定年や親亡き後を見据え、家族からも要望があるライフプラン講座等の実施も予定
専用相談窓口	窓口（面談）	実施済	・公認心理師等の専門知識を持つ相談支援員が面談 ・週1回地域福祉プラットフォームで12時～16時 随時受付（予約枠3枠は2カ月先まで埋まっている） 自宅等からの面談希望者にはリモート面談を実施
	電話	実施済	・公認心理師等の専門知識を持つ相談支援員が対応 ・月曜日～金曜日12時～18時随時受付
	メール	実施済	・公認心理師等の専門知識を持つ相談支援員が対応 ・随時受付 3営業日以内に回答
	SNS	未実施	・今後、必要性があるかを含め再検討する予定
	訪問支援	未実施	・当事者や家族等の希望に応じ、公認心理師等の専門知識を持つ相談支援員等が当事者宅等を訪問し、オープンダイアログの手法を活用した支援を実施 必要に応じてプッシュ型の訪問支援も実施 【効果】相談対応に加え、「本人・家族に寄り添う支援」を行うことで「本人・家族が一歩踏み出す支援」につなげ自立に近づくことが可能になる。
居場所づくり		未実施	・ひきこもり状態にある当事者、またはひきこもり経験がある当事者が自由にすることができ当事者同士が語り合える場の提供 将来的には区内に常設 【効果】同じ悩みを抱える者同士が交流することで「本人が一歩踏み出す支援」ができる。そして次の「本人が社会に踏み出す支援」につなぐことができる。 【当事者会】月2回程度、対象別に区内で定例開催 公認心理師を配置しカウンセリングや相談にも対応 対象別とは既に自立しているピアサポーターに近いグループと、現在ひきこもり状態で自立に向けた支援が必要なグループなど、当事者の状況に応じて必要な支援が異なるため、対象別に開催
当事者の居場所支援（当事者会） ピアサポーター養成支援		未実施	・ピアサポーター養成支援 自身の経験等を役立てたい当事者をピアサポーターとして活躍できるように当事者会等の場を活用し、支援者育成を実施

